

Ⅱ 一般入試 募集人員及び出願資格等

1 学部・学科・課程・コース・系・専修・分野及び募集人員

単位：人

学部	学科又は課程等		募集人員		
			前期	後期	
教養学部	教 養 学 科		115	25	
経済学部 (昼間コース) (注1)(注2)	経 済 学 科		195 一 般 入 試 枠	20 国 際 プ ロ グ ラ ム 枠	
	合 計		215	50	
教育学部	小学校	文 系	117 (注5)		
		理 系	38 (注5)		
	コース	実 技 系	音 楽 分 野	23	8 (注3)
			図 画 工 作 分 野		7 (注3)
			体 育 分 野		8 (注3)
	中学校	言語文化専修	国 語 分 野	6	
			英 語 分 野	7	
		社 会 専 修		8	
		自然科学専修	数 学 分 野	10	
			理 科 分 野	10	
		芸術専修	音 楽 分 野	3	
			美 術 分 野	3	
		身体文化専修	保 健 体 育 分 野	3	
	生活創造専修	技 術 分 野	5		
		家 庭 科 分 野	3		
	乳 幼 児 教 育 コ ー ス		15		
特 別 支 援 教 育 コ ー ス		18			
養 護 教 諭 養 成 課 程		15			
合 計		284			
理学部	数 学 科		20	20	
	物 理 学 科		10	30	
	基 礎 化 学 科		15	30	
	分 子 生 物 学 科		22	18	
	生 体 制 御 学 科		22	18	
	合 計		89	116	
工学部	機 械 工 学 ・ シ ス テ ム デ ザ イ ン 学 科		50	60	
	電 気 電 子 物 理 工 学 科		55	55	
	情 報 工 学 科		40	35	
	応 用 化 学 科		40	50	
	環 境 社 会 デ ザ イ ン 学 科		50	40	
	合 計		235	240	
総 計		938	431		

(注1) 経済学部(昼間コース)の一般入試枠(前期)と国際プログラム枠は、併願できない。

(注2) 経済学部(夜間主コース)は、一般入試では募集しない。

(注3) この内訳は目安である。

(注4) 教育学部は、後期日程の募集はしない。

(注5) 教育学部小学校コース文系及び理系入学者については、本人の希望と1年次前半の成績によって所属する専修(分野)を決定する。

所属先は原則として以下のとおり。

文系入学者の所属先：教育学専修、心理・教育実践学専修、言語文化専修国語分野、言語文化専修英語分野、社会専修、生活創造専修家庭科分野*

理系入学者の所属先：自然科学専修算数分野、自然科学専修理科分野、生活創造専修ものづくりと情報分野、生活創造専修家庭科分野*

*生活創造専修家庭科分野は、文系入学者・理系入学者いずれも所属先とすることができる。

2 出願資格

本学に志願することができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験のうち、志望する学部・学科が指定する教科・科目(12～37頁参照)のすべてを受験した者とする。

なお、第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定する科目を受験しても、個別学力検査等の受験はできない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込の者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月卒業見込の者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者及び令和2年3月卒業見込の者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月卒業見込の者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月修了見込の者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込の者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込の者で、令和2年3月31日までに18歳に達する者
- (8) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (9) その他本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに18歳に達する者

なお、本学に入学する意思があつて、出願資格に不明な点がある者、及び(9)に規定する入学資格認定を必要とする者は、可能な限り令和元年中にアドミッションセンター（入試課）へ問い合わせること。

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載している。

(http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/examination/)

3 出願にあたっての留意事項

- (1) 志願者は、本学の「前期日程」及び「後期日程」からそれぞれ一つの（同一又は異なった）学部への出願ができます。なお、経済学部（昼間コース）一般入試枠と国際プログラム枠の併願はできない。
- (2) 国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の試験日程グループ間の併願について、「前期－前期」、「後期－後期」はできない。
※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>) 参照
- (3) 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の推薦入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。
ただし、令和2年2月19日（水）までに当該大学に推薦入学辞退許可を得た場合は、この限りではない。
- (4) 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)のAO入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。
ただし、令和2年2月19日（水）までに当該大学にAO入試の入学辞退手続きを行った場合は、この限りではない。

Ⅲ 一般入試 選抜方法等

1 前期日程 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、調査書の内容、スポーツ活動に関する調書（教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野志願者）及び大学入試センター試験・個別学力検査等の成績による。
- (2) すべての学部・学科等において2段階選抜は行わない。
- (3) 合否判定基準について
 あらかじめ決められた配点により、大学入試センター試験と個別学力検査等の成績の総合点順に合否を決定します。なお、調査書（成績証明書等を含む）は選抜の基礎資料とする。
 また、上記の基準に加え、特別な基準等を設けている募集単位は、下記のとおりである。

学 部	合 否 判 定 基 準
教 養 学 部	あらかじめ決められた配点以外に特定の科目を重視したり、基準最低点は設けない。 総合点が同点の場合は同順位とする。
経済学部（昼間コース）	総合点が同点の場合は同順位とする。
教 育 学 部	総合点が同点の場合は同順位とする。 小学校コース実技系音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野において、実技検査の満点(500点)の60%(300点)に達しない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とする。
理 学 部	数学科において、個別学力検査の得点が2割未満の場合は不合格とする。総合点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の得点が同点の場合は、大学入試センター試験の数学の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の得点、大学入試センター試験の数学の得点が同点の場合は同順位とする。 物理学科、分子生物学科において、個別学力検査の得点が2割未満の場合は不合格とする。総合点が同点の場合は同順位とする。 基礎化学科において、総合点が同点の場合は、大学入試センター試験の理科の得点の高い者を上位とする。総合点、大学入試センター試験の理科の得点が同点の場合は同順位とする。 生体制御学科において、総合点が同点の場合は、同順位とする。
工 学 部	総合点が同点の場合は、大学入試センター試験の得点の高い者を上位とする。総合点、大学入試センター試験の得点が同点の場合は同順位とする。

(4) 得点調整について

教育学部学校教育教員養成課程小学校コース理系の「個別学力検査の数学・理科」及び経済学部(昼間コース)一般入試枠の「個別学力検査の英語・国語・数学」の得点については、中央値補正法による得点調整を行う。

2 後期日程 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、調査書の内容及び大学入試センター試験・個別学力検査等の成績による。
- (2) すべての学部・学科等において2段階選抜は行わない。
- (3) 合否判定基準について

あらかじめ決められた配点により、大学入試センター試験と個別学力検査等の成績の総合点順に合否を決定する。なお、調査書（成績証明書等を含む）は選抜の基礎資料とする。

また、上記の基準に加え、特別な基準等を設けている募集単位は、下記のとおりである。

学 部	合 否 判 定 基 準
教 養 学 部	あらかじめ決められた配点以外に特定の科目を重視したり、基準最低点は設けない。 総合点が同点の場合は同順位とする。
経済学部(昼間コース)	総合点が同点の場合は同順位とする。
理 学 部	数学科において、個別学力検査の数学の得点が2割未満の場合は不合格とする。総合点が同点の場合は、個別学力検査の数学の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の数学の得点が同点の場合は、大学入試センター試験の数学の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の数学の得点、大学入試センター試験の数学の得点が同点の場合は同順位とする。 物理学科、分子生物学科、生体制御学科において、総合点が同点の場合は同順位とする。 基礎化学科において、総合点が同点の場合は、個別学力検査の理科の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の理科の得点が同点の場合は同順位とする。
工 学 部	総合点が同点の場合は、個別学力検査の得点の高い者を上位とする。総合点、個別学力検査の得点が同点の場合は同順位とする。

3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の出題教科・科目、配点等

※本学に志願することができる者は、令和2年度大学入試センター試験のうち、志願する学部・学科が指定する教科・科目のすべてを受験した者とする。
 なお、第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定する科目を受験しても、個別学力検査等の受験はできない。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験		個別学力検査等	
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等
教養学部 教養学科 160人 前期115 後期25 その他20 [4.8]	前期	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の7科目の中から2科目選択 (※)公民から2科目選択することはできない。	
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』		
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 (物理、化学、生物、地学)	左の「基礎を付した科目」から2科目選択、又は「基礎を付していない科目」から2科目選択	
		外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択	
	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕				
後期	前期日程と同じ		その他	小論文 (詳細は43頁を参照すること)	

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
 (注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
 (注3) 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目の中から2科目と、物理、化学、生物、地学の4科目の中から1科目選択した場合には、基礎を付した2科目を利用する。
 (注4) 物理、化学、生物、地学の4科目から2科目を選択した場合には、合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用する。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	200	100	100	100	200 (注2)					900	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] 推薦	実施 しない
			100	100									
	個別学力検査					300					300		
	計	200	200	200	100	500					1200		
後期	センター試験	200	100	100	100	300 (注3)					1000		
			100	100									
	個別学力検査					200					200		
	計	200	200	200	100	300	200				1200		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。

(注2) 前期試験において、センター試験の外国語で英語を選択した場合、
「〔筆記(200点)＋リスニング(50点)〕×0.8＝200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

(注3) 後期試験において、センター試験の外国語で英語を選択した場合、
「〔筆記(200点)＋リスニング(50点)〕×1.2＝300点」とする。
英語以外を選択した場合は、「筆記(200点)×1.5＝300点」とする。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験		個別学力検査等		
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等	
経済学部 (昼間コース) 経済学科 280人 前期215 後期 50 その他15 〔5.1〕	前期(国際プログラム枠)	国語	国語	必須	その他 小論文 (詳細は38頁を参照すること)	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の4科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。		
		公民(注7)	『倫理, 政治・経済』			
		外国語(注4)	英語(リスニングを含む)			
		〔2教科2科目〕又は〔3教科3科目〕(注5)				
	前期(一般入試枠)	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B(近代以降の文章)
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の5科目の中から2科目選択 (※)公民から2科目選択することはできない。	数学	数学I・数学II・数学A・数学B(数列, ベクトル)
		公民(注7)	現代社会, 『倫理, 政治・経済』			
		数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須	外国語	英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II)
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択 「基礎を付した科目」を2科目及び「基礎を付していない科目」を1科目受験した場合、「基礎を付した科目」の成績を採用する。 「基礎を付していない科目」を2科目選択した場合、「第1解答科目」の成績を採用する。		
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕			上記の3教科から2教科選択する。	
	後期	前期日程(一般入試枠)と同じ			その他	小論文 (詳細は43頁を参照すること)

- (注1) 経済学部(夜間主コース)は、社会人入試(入学定員15人)で募集する。
- (注2) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
- (注3) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
- (注4) 前期(国際プログラム枠)において、英語力検定試験(TOEFL iBT(ITPを含む), IELTS(アカデミック・モジュール), TOEIC L&R(IPを含む), GTEC(4技能版のオフィシャルスコアに限る, CBTタイプも可)のいずれか)を受験した場合は、出願時にTOEFL, IELTS, TOEIC及びGTECの成績証明書を提出できる。その成績をセンター試験(英語)の成績に換算して採用する。TOEICスコアからセンター試験(英語)への換算は、経済学部1年生のデータを用いて行い、換算にあたっては偏差値を用いる。
- TOEFL, IELTS及びGTECのスコアは、換算表(15頁)に従いTOEICへ換算する。また、英語力検定試験とセンター試験(英語)の両方を受験した場合、あるいは英語力検定試験のうち複数の試験を受験した場合は、高得点の方を採用する。
- (注5) 英語力検定試験の成績証明書を提出した場合は、外国語を受験せずに2教科2科目で受験することができる。
- (注6) 「地理歴史及び公民」並びに「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
- (注7) 『倫理』および『政治・経済』のいずれかを指すものではなく、『倫理, 政治・経済』の1科目を指す。

国際プログラムについて (<http://www.eco.saitama-u.ac.jp/5-gtp/index.html>)

前期(国際プログラム枠)で入学した学生は、原則として、教育プログラム「グローバル・タレント・プログラム」に参加することになります。

本プログラムは、世界の多様性・多面性を理解し、世界の文脈の中で英語で発信できるコミュニケーション能力を磨きます。

国際的に展開している多数のわが国企業や世界の企業、国際組織などで幅広く活躍できる人材を育成します。

学力検査等 区分・ 日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別 入試	2段階 選抜	
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計			
前期（国際プログラム枠）	センター試験	150 (近代以降の文章)	200									800	私費 [以下、 別冊子] 推薦	実施 しない
		50 (古文・漢文)												
	個別学力検査						200				200			
	計	200	200			400	200				1000			
前期（一般入試枠）	センター試験	200	100	100	100	200 (注2)					900	500		
			100	100										
	個別学力検査	*250 (注3)		*250 (注3)		*250 (注3)								
	計	*450	200	*450	100	*450				1400				
後期	センター試験 Ⅰ (注4)	100	50	150	50	350 (注4)					900	300		
			50	150										
	個別学力検査					300				300				
	計	100	100	300	50	350	300			1200				
	センター試験 Ⅱ (注4)	300	50	50	50	350 (注4)					900			
			50	50										
個別学力検査					300				300					
計	300	100	100	50	350	300			1200					

- (注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
(注3) なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。
個別学力検査は、国語・数学・外国語の3教科から2教科を出願時に選択し受験する。選択教科には*印を付した。
なお、3教科の得点については、中央値補正法による調整を行う。
(注4) 経済学部の後期日程は、ⅠとⅡの方式で採点し、高得点の方を採用する。Ⅰ・Ⅱともセンター試験の外国語で英語を選択した場合、「筆記(200点)×1.5+リスニング(50点)=350点」とする。英語以外を選択した場合は「筆記(200点)×1.75=350点」とする。
(注5) センター試験の外国語(英語)の配点は、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×1.6=400点」とする。

経済学部「国際プログラム枠」入試換算表

TOEFL iBT	TOEIC	TOEFL iBT	TOEIC	TOEFL iBT	TOEIC	IELTS	TOEIC
120	990	94	830	88	644	9.0	990
119	990	93	825	87	635	8.5	990
118	990	92	816	86	629	8.0	990
117	990	91	807	85	624	7.5	990
116	990	90	802	84	609	7.0	882
115	990	89	796	83	595	6.5	807
114	990	88	787	82	592	6.0	730
113	990	87	779	81	586	5.5	652
112	990	86	773	80	578	5.0	578
111	989	85	767	59	572	4.5	480
110	980	84	764	58	566	4.0	443
109	966	83	753	57	552		
108	951	82	739	56	537		
107	945	81	736	55	529		
106	940	80	730	54	526		
105	922	79	727	53	520		
104	911	78	721	52	506		
103	908	77	716	51	491		
102	902	76	707	50	480		
101	894	75	693	49	477		
100	882	74	687	48	471		
99	865	73	681	47	463		
98	859	72	675	46	451		
97	853	71	667	45	443		
96	845	70	652				
95	836	69	649				

GTEC	TOEIC
1400	990
1345-1399	990
1293-1344	882
1241-1292	807
1189-1240	730
1131-1188	652
1074-1130	578
1017-1073	480
960-1016	443

※TOEICスコアから大学入試センター試験(英語)への換算は、経済学部1年生のデータを用いて行い、換算にあたっては偏差値を用いる。
TOEFL, IELTS及びGTECのスコアは、換算表に従いTOEICへ換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等			
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等		
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	小学校 教育教員 養成課程	文系	前期	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
			地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択（16頁（注4）参照）			
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択			
			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （16頁（注3）の①・②参照） （※）「公民」から2科目選択はできない。			
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
			外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
			〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					
	理系	前期	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列、ベクトル）
			地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択（16頁（注4）参照）			
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択			
			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （16頁（注3）の①・②参照） （※）「公民」から2科目選択はできない。			
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
外国語			英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕								
理系	前期	前期	国語	国語	必須	理科	①物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学の4科目から1科目 ②物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目から1科目 計2科目選択 ただし、①のグループから選択する科目の分野と②のグループから選択する科目の分野は異なること。	
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択（16頁（注4）参照）				
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択				
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （16頁（注3）の①・②参照） （※）「公民」から2科目選択はできない。				
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須				
		外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕						
上記の2教科から1教科選択する。								

〔注1〕 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。

〔注2〕 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。

〔注3〕 本学が指定する科目数を超過受験した場合の成績採用方法は、下記の通りとする。

- ① 「地歴及び公民」から2科目、「基礎を付した科目」から2科目、「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合は、「地歴及び公民」の「第1解答科目」の成績を採用し、他は高得点の科目の成績を採用する。
- ② 「地歴及び公民」から2科目、「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、「地歴及び公民」並びに「基礎を付していない科目」の「第1解答科目」の成績を採用し、他は高得点の科目の成績を採用する。
- ③ 「基礎を付した科目」から2科目、「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を採用する。
- ④ 「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。
- ⑤ 「地歴及び公民」から2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。

〔注4〕 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』の合計3科目選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）を選択することができる。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜	
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接
前期	センター試験	200	*100	*100	100 100	*100	*100	200					900	実施しない 私費の募集単位は、67頁を参照すること。 [以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。
	個別学力検査							500					500	
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	700					1400	
前期	センター試験	200	*100	*100	100 100	*100	*100	200					900	私費の募集単位は、67頁を参照すること。 [以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。
	個別学力検査				500 (注3)	500 (注3)							500	
	計	200	*100	*100	700 または 200	*600 または *100	*600 または *100	200					1400	

- (注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には*を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
 (注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
 なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。
 (注3) 個別学力検査は、数学・理科の2教科から1教科を出願時に選択し受験する。なお、2教科の得点については、中央値補正法による調整を行う。

学部・学科等名 及び入学定数 〔平成31年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	音楽	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査 (詳細は40頁を参照すること)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照)		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				
	図画 工作	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査 (詳細は41頁を参照すること)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照)		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				
	体育	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査 (詳細は41~42頁を参照すること)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照)		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				

(注1) 「基礎を付した科目」とは, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指す。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは, 物理, 化学, 生物, 地学を指す。
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は, 16頁の(注3)を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費の募集単位は、67頁を参照すること。 [以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。	実施しない
	個別学力検査				100					500			500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費の募集単位は、67頁を参照すること。 [以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。	
	個別学力検査				100					500			500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	[以下、別冊子] 推薦の募集単位は、特別入試学生募集要項を参照すること。	
	個別学力検査				100					500 (注3)			500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。

(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。

なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

(注3) 小学校コース実技系体育分野実技の配点は、第1得意種目250点、第2得意種目250点とする。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	言語文化 (国語)	前期	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B・古典B
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は 「基礎を付していない科目」から1科目選択 (16頁〔注3〕の③・④参照)		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				
	言語文化 (英語)	前期	国語	国語	必須	外国語	英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁〔注4〕参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁〔注3〕の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
外国語			英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕							
社会	前期	国語	国語	必須	その他	小論文 (詳細は38頁を参照すること)	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできない。			
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
		数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須			
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は 「基礎を付していない科目」から1科目選択 (16頁〔注3〕③・④参照)			
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
		〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕					

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は、16頁の(注3)を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜	
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接			配点合計
前期	センター試験	200	100		100	100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
			100		100									
	個別学力検査	500										500		
計	700	200		200	100	200						1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200				900	私費 [以下、別冊子] 推薦	
					100									
	個別学力検査							500				500		
計	200	*100	*100	200	*100	*100	700					1400		
前期	センター試験	200	200		100	100	200					1100	私費 [以下、別冊子] 推薦	
			200		100									
	個別学力検査							300				300		
計	200	400		200	100	200	300					1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等			
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等		
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	中学校 教育 教員 養成 課程	自然科学 (数学)	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列, ベクトル)
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択 (16頁(注3)の⑤参照)			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目 選択(16頁(注4)参照)			
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕					
	自然科学 (理科)	前期	国語	国語	必須	理科	①物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物 基礎・生物, 地学基礎・地学の4科目から 1科目 ②物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学 基礎の4科目から1科目 計2科目選択 ただし, ①のグループから選択する科目の 分野と②のグループから選択する科目の 分野は異なること。	
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択 (16頁(注3)の⑤参照)				
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』					
		数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須				
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目 選択(16頁(注4)参照)				
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕						

- (注1) 「基礎を付した科目」とは, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指す。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは, 物理, 化学, 生物, 地学を指す。
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は, 16頁の(注3)を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	200	100	100	100	200					900	私費 [以下、 別冊子] 推薦	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			500							500		
	計	200	100	700	200	200					1400		
前期	センター試験	200	100	100	100	200					900	私費 [以下、 別冊子] 推薦	
				100	100								
	個別学力検査				500						500		
	計	200	100	200	700	200					1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	中学校 教育 教員 養成 課程	芸術 (音楽)	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査 (詳細は40頁を参照すること)
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択	
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。	
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の2科目必須	
				数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択	
				外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]	
				[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]			
	芸術 (美術)	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査 (詳細は41頁を参照すること)	
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の2科目必須		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]		
			[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]				
	身体文化 (保健体育)	前期	国語	国語	必須	その他 実技検査 (詳細は41~42頁を参照すること)	
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の2科目必須		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の5科目の中から1科目選択		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]		
			[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]				

(注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は、16頁の(注3)を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
					100										
	個別学力検査										500		500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
					100										
	個別学力検査										500		500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
					100										
	個別学力検査										500 (注3)		500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500		1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。

(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「〔筆記(200点)＋リスニング(50点)〕×0.8＝200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。

なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

(注3) 中学校コース身体文化専修保健体育分野実技の配点は、第1得意種目350点、第2得意種目150点とする。

学部・学科等名 及び入学定等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	中学校 教育 教員 養成 課程	生活創造 (技術)	前期	国語	国語	必須	その他 面接 (詳細は38頁を参照すること)
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択 (16頁(注3)の⑤参照)	
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』		
				数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択(16頁(注4)参照)	
				外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択	
				〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕			
	生活創造 (家庭科)	前期	国語	国語	必須	外国語 英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)	
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択(16頁(注4)参照) ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①もしくは②のパターンを選択する。 (16頁(注3)の①・②参照) (※)「公民」から2科目選択はできない。		
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
(注3) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法は、16頁の(注3)を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	センター試験	200	100		100	100		200					900	私費 [以下、 別冊子] 推薦	実施 しない
					100	100									
	個別学力検査										500	500			
	計	200	100		200	200		200				500	1400		
前期	センター試験	250	*150	*150	150			150					1150	私費 [以下、 別冊子] 推薦	
					150	*150 *150									
	個別学力検査							250				250			
	計	250	*150	*150	300	*150 *150		400					1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等	
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部 380人 前期284 その他96 〔3.4〕	乳幼児教育 コース	前期	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
	特別支援教育 コース	地歴	世界史B, 日本史B, 地理B		左の「地歴及び公民」から2科目選択 （※）「公民」から2科目選択はできない。	
公民		現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
数学		数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須		
理科		物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学		左の「基礎を付した科目」から2科目又は 「基礎を付していない科目」から1科目選択 （16頁（注3）の③・④参照）		
外国語		英語（リスニングを含む）, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語		左の5科目の中から1科目選択		
〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕						
養護教諭養成課程	前期	国語	国語	必須	外国語 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）	
	地歴	世界史B, 日本史B, 地理B		①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択（16頁（注4）参照） ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
	公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』		上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （16頁（注3）の①・②参照） （※）「公民」から2科目選択はできない。		
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学				
	数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須		
	外国語	英語（リスニングを含む）, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語		左の5科目の中から1科目選択		
〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕						
養護教諭養成課程	前期	国語	国語	必須	その他 面接 （詳細は38頁を参照すること）	
	地歴	世界史B, 日本史B, 地理B		①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目』又は『「基礎を付していない科目」から2科目』選択（16頁（注4）参照） ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の『「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目』選択		
	公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』		上記の①もしくは②のパターンを選択する。 （16頁（注3）の①・②参照） （※）「公民」から2科目選択はできない。		
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学				
	数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B		左の2科目必須		
	外国語	英語（リスニングを含む）, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語		左の5科目の中から1科目選択		
〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕						

〔注1〕 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指す。
〔注2〕 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指す。
〔注3〕 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法は、16頁の〔注3〕を参照すること。

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜		
	試験の区分	国語	地歴・公民		数学	理科		外国語	小論文	総合問題	実技			面接	配点合計
前期	センター試験	200	100		100	100		200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
	個別学力検査							500					500		
	計	200	200		200	100		700					1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
	個別学力検査				100			500					500		
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	700					1400		
前期	センター試験	200	*100	*100	100	*100	*100	200					900	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
	個別学力検査				100			500			500	500			
	計	200	*100	*100	200	*100	*100	200			500	1400			

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。選択教科には*印を付した。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
理学部 210人 前期 89 後期 116 その他 5 〔5.2〕	数学科	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B			
			理科	物理, 化学, 生物, 地学	左の4科目の中から2科目選択		
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕				
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
					理科	物理基礎・物理と化学基礎・化学から1科目を選択する。	
	物理学科	前期	国語	国語	必須	その他	総合問題(物理, 数学及び英語に関する総合問題を出題する。前提とする物理及び数学の知識は, それぞれ高等学校における物理基礎・物理及び数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(数列,ベクトル)にわたる。また, 英語の読解力と記述力が要求される。)
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B			
			理科	物理	必須		
化学, 生物, 地学				左の3科目の中から1科目選択			
外国語			英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
〔5教科7科目〕							
後期		前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
					理科	物理基礎・物理	
基礎化学科		前期	国語	国語	必須	その他	総合問題(化学を中心とした自然科学の内容についての知識, 理解力, 論理的思考力, 表現力等を総合的にみる。)
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B			
	理科		化学	必須			
			物理, 生物, 地学	左の3科目の中から1科目選択			
	外国語		英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
	〔5教科7科目〕						
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
					理科	物理基礎・物理と化学基礎・化学から1科目を選択する。	

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	200	100	150	100	200					1000	私費	実施しない
				150	100								
	個別学力検査			1000						1000			
	計	200	100	1300	200	200				2000			
後期	センター試験	200	100	150	100	200					1000	私費	実施しない
				150	100								
	個別学力検査			800	200					1000			
	計	200	100	1100	400	200				2000			
前期	センター試験	200	100	100	100	200					900	私費	実施しない
				100	100								
	個別学力検査						400			400			
	計	200	100	200	200	200		400		1300			
後期	センター試験	200	100	100	100	200					900	私費	実施しない
				100	100								
	個別学力検査			400	400					800			
	計	200	100	600	600	200				1700			
前期	センター試験	200	100	100	100	300					1000	私費 [以下、別冊子] 推薦	実施しない
				100	100								
	個別学力検査						300			300			
	計	200	100	200	200	300		300		1300			
後期	センター試験	200	100	100	100	400					1100	私費	実施しない
				100	100								
	個別学力検査			200	600					800			
	計	200	100	400	800	400				1900			

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「〔筆記(200点)+リスニング(50点)〕×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験		個別学力検査等			
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等		
理学部 210人 前期 89 後期116 その他5 〔5.2〕	分子生物学科	前期	国語	国語	必須	その他 総合問題(生物学を中心とした自然科学の 内容についての知識、理解力、論理的思考 力、表現力等を総合的に判定する。)	
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史 B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間にお いて、2科目を受験した場合は、 「第1解答科目」の成績を採用する。		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政 治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			理科	物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択		
			外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フ ランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕				
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列、ベクトル)	
		前期日程と同じ			理科	物理基礎・物理と化学基礎・化学と生物基 礎・生物から1科目を選択する。	
	生体制御学科	前期	前期	国語	国語	必須	その他 総合問題(生物学を中心とした自然科学的 内容についての理解力、思考力、表現力等 を総合的にみる。)
				地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史 B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間にお いて、2科目を受験した場合は、 「第1解答科目」の成績を採用する。	
				公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政 治・経済』		
				数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須	
				理科	物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択	
外国語				英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フ ランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
〔5教科7科目〕							
後期		前期日程と同じ			理科	化学基礎・化学と生物基礎・生物から1科 目を選択する。	

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	100	100	100	200	300					1100	私費	実施しない
				100	200								
	個別学力検査							300		300			
	計	100	100	200	400	300		300		1400			
後期	センター試験	200	100	100	200	300					1200	私費	実施しない
				100	200								
	個別学力検査			200	300					500			
	計	200	100	400	700	300				1700			
前期	センター試験	200	100	100	200	300					1200	私費	実施しない
				100	200								
	個別学力検査							400		400			
	計	200	100	200	400	300		400		1600			
後期	センター試験	200	100	200	100	400					1300	私費	実施しない
				200	100								
	個別学力検査				400					400			
	計	200	100	400	600	400				1700			

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等			
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等		
工学部 490人 前期235 後期240 その他15 〔4.5〕	機械工学・ システム デザイン学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須
			理科	物理	必須			左の3科目の中から1科目選択
				化学, 生物, 地学				
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
	〔5教科7科目〕							
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)		
					理科	物理基礎・物理		
	電気電子 物理工学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須
理科			物理	必須	左の3科目の中から1科目選択			
			化学, 生物, 地学					
外国語			英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
〔5教科7科目〕								
後期		前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)		
					理科	物理基礎・物理		
情報工学科		前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)	
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお, 地理歴史及び公民の試験時間において, 2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を採用する。			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須
	理科		物理, 化学, 生物, 地学	左の4科目の中から2科目選択				
	外国語		英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
	〔5教科7科目〕							
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列,ベクトル)		
					理科	物理基礎・物理		

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			300			100				400		
	計	100	100	500	200	200	100				1200		
後期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			200	200						400		
	計	100	100	400	400	200					1200		
前期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			200			100				300		
	計	100	100	400	200	200	100				1100		
後期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			200	200						400		
	計	100	100	400	400	200					1200		
前期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] A O	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			300			100				400		
	計	100	100	500	200	200	100				1200		
後期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100								
	個別学力検査			300	300						600		
	計	100	100	500	500	200					1400		

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等				
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等			
工学部 490人 前期235 後期240 その他15 〔4.5〕	応用化学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	その他	総合問題（化学に関する知識、理解力、論理的思考力、計算力、および英語読解力等を総合的に評価する。）		
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。				
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』					
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須	
			理科	化学	必須			左の2科目の中から1科目選択	
				物理、生物					
			外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕							
		後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列、ベクトル)		
						理科	化学基礎・化学		
		環境社会 デザイン学科		前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用する)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列、ベクトル)
					地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択 (※)なお、地理歴史及び公民の試験時間において、2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を採用する。		
					公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
					数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B			
理科	物理				必須	左の3科目の中から1科目選択			
	化学、生物、地学								
外国語	英語(リスニングを含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語				左の5科目の中から1科目選択				
〔5教科7科目〕									
後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列、ベクトル)				
				理科	物理基礎・物理				

学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試	2段階選抜
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	総合問題	実技	面接	配点合計		
前期	センター試験	100	100	100	200 (化学)	200					900	帰国子女 私費	実施 しない
				100	100 (物理又は生物)								
	個別学力検査						100	300		400			
	計	100	100	200	300	200	100	300		1300			
後期	センター試験	100	100	100	200 (化学)	200					900	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] 推薦	
				100	100 (物理又は生物)								
	個別学力検査			100	600					700			
	計	100	100	300	900	200				1600			
前期	センター試験	100	100	100	100	200					800	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] 推薦	
				100	100								
	個別学力検査			200			100			300			
	計	100	100	400	200	200	100			1100			
後期	センター試験	100	100	100	100	300					900	帰国子女 私費 [以下、 別冊子] 推薦	
				100	100								
	個別学力検査			200	200					400			
	計	100	100	400	400	300				1300			

(注1) センター試験の配点にあたっては、上記掲載の配点に換算する。令和2年度大学入試センター試験の成績のみを利用する。
(注2) センター試験の外国語で英語を選択した場合、「[筆記(200点)+リスニング(50点)]×0.8=200点」とし、他の外国語と比較できるようにする。
なお、配点にあたっては、他の科目と同様に上記表に掲載しているセンター試験の配点に換算する。

4 前期日程(面接・小論文・総合問題)

(1) 面接の内容について(前期日程)

学部	課程・コース等	検査項目	面接形式	採点・評価基準
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校コース 生活創造専修 技術分野	面接（技術に関する口頭試問を含む。）	個人面接及び課題についてのグループディスカッションを行う。 面接員は複数である。	口頭による質問及びグループ討議により、学問一般、技術に関する意欲、関心、知識、理解、及び技能等を総合的に評価する。
	養護教諭養成課程	面接（保健に関する口頭試問を含む。）	集団面接を行う。面接員は複数である。	保健についての知識・理解、思考力、コミュニケーション能力、教職への意欲等を総合的に評価する。

(2) 小論文の出題意図等について(前期日程)

学部	学 科	出 題 意 図	採点・評価基準
経済学部	経済学科(国際プログラム枠)	国内外の社会に関する関心と論理的思考力、表現力を評価する。	論理的思考力、表現力を評価する。
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校コース 社会専修	社会的事象に対する関心、論理的思考力等を評価する。	思考力、判断力、表現力を評価する。
工学部	全 学 科	社会や工学に関する関心、学びの意欲、あるいは多様性の中で協力しながら活動する力を評価する。	主体性、多様性への対応、協働性の観点を重視して評価する。

(3) 総合問題の採点・評価基準について(前期日程)

学部	学 科	採 点 ・ 評 価 基 準
理 学 部	物 理 学 科	考察力・理解力・表現力に優れているかどうか、出題の意図をよく理解しているかどうかについて判定する。
	基 礎 化 学 科	化学を中心とした自然科学の内容についての知識、理解力、論理的思考力、表現力等を総合的に評価する。
	分 子 生 物 学 科	生物学を中心とした自然科学の内容についての知識、理解力、論理的思考力、表現力等を総合的に評価する。
	生 体 制 御 学 科	生物及び生命現象全般について、深く広く理解し、正しく認識できていることを求めている。従って、理解が適切で十分であり論理的に正しく考察されていることを評価する。
工 学 部	応 用 化 学 科	化学に関する知識、理解力、論理的思考力、計算力、英文読解力等を総合的に評価する。

5 前期日程(教育学部実技検査)

- (1) **音楽実技** 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野を志望する者

検査項目

次のA)、B)、C)を全員が受験する。なお、「音楽実技検査に関する調書」を出願書類と同時に提出すること。

A) 声楽：次の歌曲の中から、任意の1曲を選び原語・暗譜で歌う。

- ・A. カルダラ (Caldara)作曲 : Selve amiche (ロ短調、イ短調、ト短調)
- ・F. ドゥランテ (Durante)作曲 : Vergin, tutto amor (ニ短調、ハ短調、ロ短調)
- ・A. スカルラッチェ (Scarlatti)作曲 : Sento nel core (ヘ短調、ホ短調、ニ短調)
- ・滝廉太郎作曲 山田耕筰編曲 : 秋の月 (ロ短調)

[注] ①「音楽実技検査に関する調書」の所定の欄に選んだ曲名及び歌唱する調を記入すること。提出された曲及び調の変更は認めない。

②それぞれの歌曲について、()内に示した調の楽譜は本学で用意する。楽譜提出の必要はない。上記以外の調で歌うことを希望する場合は、伴奏者用としてその調の楽譜を出願書類と同時に提出すること。提出の際、1頁がA4縦のサイズになるようにすること。製本しないこと。提出された楽譜は返却しない。

③伴奏者は、本学で用意する。

④演奏を途中で打ち切ることがある。

B) 器楽：次の1または2のどちらか1つを選択して受験する。ただし2の場合は、イとロの両方を受験すること。

1. 次の作曲家のピアノソナタの中から任意の楽章(複数でもよい)を暗譜で演奏する。複数の楽章を演奏する場合は、同一の作品から選ぶこと。演奏時間は3分以上とする。(繰り返しは省略。ただし、ダ・カーポは行うこと。)

- ・J. ハイドン
- ・W. A. モーツァルト
- ・L. van ベートーヴェン

2. 次のイとロの両方を受験する。(特にイは、受験する楽器によって課題が異なるので注意すること。)

イ. 次の楽器の中から1つを選び、下記の指示に従って演奏する。(音階以外は視奏も可。繰り返しは省略。)

フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

【管楽器で受験する者】

フルートで受験する者は、次の〈課題1〉と〈課題2〉を演奏する。フルート以外の管楽器で受験する者は、〈課題1〉と〈課題3〉を演奏する。

〈課題1〉(管楽器共通)

任意の1つの長調、または短調の音階を2オクターヴ演奏する。(上行形と下行形を続けて暗譜で演奏する。テンポ、リズム、アーティキュレーションは自由。短調の場合は和声的短音階とする。)

〈課題2〉(フルートで受験する者のみ)

E. ケーラー：「35の練習曲」op. 33の第1巻(15 Easy Exercises)及び第2巻(12 Medium Difficult Exercises)(版は指定しない)の中から任意の曲、または同程度の練習曲、独奏曲を選び4分以上8分程度まで演奏する。(曲数は問わない。)

〈課題3〉(フルート以外の管楽器で受験する者のみ)

任意の独奏曲を選び4分以上8分程度まで演奏する。(曲数は問わない。)

【弦楽器で受験する者】

任意の独奏曲を選び4分以上8分程度まで演奏する。(曲数は問わない。)

ロ. J. S. バッハ：「2声のインヴェンション」より任意の1曲をピアノで演奏する。(繰り返しは省略。暗譜とする。)

[注] ①伴奏はつけない。

②演奏する曲の楽譜を出願書類と同時に提出すること。提出の際、1頁がA4縦のサイズになるようにすること。製本しないこと。

(ピアノ及び音階の楽譜の提出は不要。提出された楽譜は返却しない。)

③ピアノ以外の楽器は、志願者各自が持参すること。

④演奏する箇所を指定することがある。

⑤複数曲提出した場合は、「音楽実技検査に関する調書」に記入した曲順通りに演奏すること。

なお、演奏する曲目を指定することがある。

⑥演奏を途中で打ち切ることがある。

C) 音楽理論

楽典 (筆記用具を持参すること。試験時間は50分。)

採点・評価基準 演奏技術、音楽性、音楽的知識による総合評価

- (2) **美術実技** 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系図画工作分野及び中学校コース芸術専修美術分野を志望する者

検査項目

木炭による静物デッサン（試験時間：3時間） サイズ：木炭紙大

静物：卓上に置かれた単体のモチーフ

〔注〕① 画用木炭、消し具は各自持参すること。

② 画板、イーゼル、木炭紙（MBM）、下敷用紙は本学で用意する。

③ はかり棒、構図フレーム等は使用してもよい。

採点・評価基準

意欲、表現力、素描力を総合的に評価する。

- (3) **体育実技** 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野を志望する者

検査項目

下表の運動種目の実技及びスポーツ活動に関する調書

領域	種 目	第1得意種目としての内容	第2得意種目としての内容
1	陸 上 競 技	100m走、1500m走、走り幅跳び、砲丸投げ、の中から1つについて評価する。 100m走は、土のグラウンド（使用できない場合ゴムシート上）でスターティングブロックから疾走する。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周する。走り幅跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定する。砲丸投げは、高校用砲丸(男子6kg、女子4kg)を投てきする。 なお、専用シューズやスパイクを使用して構わない。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがあるが、選択内容に近い距離や検査内容とする。	100m走、1500m走、走り幅跳び、砲丸投げ、の中から1つについて評価する。 100m走は、土のグラウンド（使用できない場合ゴムシート上）でスターティングブロックから疾走する。1500m走は、土のグラウンドで400mトラックを3周と3/4周する。走り幅跳びは、ゴムシートの助走路から、実測距離を測定する。砲丸投げは、高校用砲丸(男子6kg、女子4kg)を投てきする。 なお、専用シューズやスパイクを使用して構わない。また、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがあるが、選択内容に近い距離や検査内容とする。
2	バレーボール	下記の全てを行う。 1. 2人組のパス 2. レセプション（サーブレシーブ） 3. アタック 4. ポジション別の課題 5. 4人対4人のゲーム （人数によっては、やり方を変えることがある）	下記の全てを行う。 1. オーバーハンドパス 2. アンダーハンドパス 3. アタック
	バスケットボール	バスケットボールの個人技能を観る（ディフェンスがいない状態で自分の得意なシュートいくつかを行う） パス&ランを基本としたハーフコートの3対3を行う。 パス&ランを基本としたオールコートのゲームを行う。 （人数によっては、やり方を変えることがある）	バスケットボールの個人技能1（バックボードにボールを当てて左右に移動する回数をみる） バスケットボールの個人技能2（ランニングシュートを左右から行う。その際両手を使うようにする） ディフェンスのいない状態で、パスを受けてから自分の得意なシュートをいくつか行う。
	サッカー	1. ボールコントロール 2. パス&コントロール 3. 「2対2」の攻防（GK有） 4. 「4対4」のゲーム （人数によって、やり方を変えることがある） なお、サッカーシューズ（スパイク）は使用して構わない。荒天の場合、屋内において実技検査を行うことがあるため、屋内シューズを用意すること。	1. パス&ボールコントロール 2. ボールコントロールからシュート なお、サッカーシューズ（スパイク）は使用して構わない。荒天の場合、屋内において実技検査を行うことがあるため、屋内シューズを用意すること。

		こと。	
3	ダンス	創作ダンス作品の演技（3分以内）。 ・作品のタイトル・テーマは自由。 ・音楽（CDに限る）を持参して使用してもよい（プレイヤーは大学で用意）。 ・衣装は自由（スカート、上着など簡単な衣装をつけてもよい）。	創作ダンスあるいは現代的なリズムのダンスの演技（1分30秒以内） *創作ダンスの演技 ・作品のタイトル・テーマは自由 ・音楽（CDに限る）を持参して使用してもよい（プレイヤーは大学で用意）。 *現代的なリズムのダンスの演技 ・ロックまたはヒップホップのリズムから1つ選び、持参した音楽（CD）に合わせて踊ること（プレイヤーは大学で用意）。
	器械運動	マット運動、鉄棒運動のどちらか1つを選択し、5技以上で演技を構成し実施する。 マット運動は12mのマットを往復する。 鉄棒は高鉄棒を使用し、上り技・下り技を含んで構成する。	マット運動において、5技で演技を構成し実施する。 マット運動は12mのマットを往復する。
<p>1から3の領域の中から、第1得意種目を1種目と第2得意種目を2種目選択し、合計3種目受験する。ただし、これらの3種目は異なる領域から選ばなければならない。 陸上競技は、荒天の場合、屋内において異なる内容に変更することがある。 各種目の専用シューズを使用してもよい。</p>			
スポーツ活動に関する調書		<p>出身学校長の作成したスポーツ活動に関する調書（本学指定の用紙）は実技検査に併せて評価する。高等学校卒業程度認定試験合格者については、志願者本人が記載したスポーツ活動の記録（前記の調書に記入）に基づいて評価する。 調書に記載された事項について、それを証明できる書類（大会プログラム、公式記録、新聞記事、賞状等から1点）がある場合は、その写しを添付すること。</p>	

採点・評価基準

第1得意種目については、基礎的技能及び専門的技能を評価する。第2得意種目については、基礎的技能を評価する。

小学校コース実技系体育分野実技の配点は、第1得意種目250点、第2得意種目250点、中学校コース身体文化専修保健体育分野実技の配点は、第1得意種目350点、第2得意種目150点とする。

6 後期日程(小論文)

小論文の出題意図等について(後期日程)

学部	学 科	出 題 意 図	採 点 ・ 評 価 基 準
教養学部	教 養 学 科	社会や文化について書かれた日本語の課題文を与え、それに関する設問に対して論述形式で解答させ、理解力、論理的考察力・構成力、表現力を評価する。	理解力、論理的考察力・構成力、表現力を評価する。
経済学部	経 済 学 科	課題文やデータを正確に読み取る能力や、自らの考えを論理的、説得的に表現する能力を評価する。	論理的思考力、表現力を評価する。

7 調査書について

- (1) 出身学校長が作成したもの。
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者並びに高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者を含む。)については、当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代える。
なお、高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者を含む。)で、科目免除のある者、あるいは一部科目合格者については、該当する入試の出願手続の調査書の欄に詳細を記載しているので、必要な証明書等を併せて提出すること。
- (3) 全ての募集単位において、調査書は入試の基礎資料とする。
- (4) 既卒者の調査書は、卒業後に発行されたものであれば発行日を問いません。なお、卒業後、5年を経過し、出身学校から調査書が発行されない場合は、卒業証明書及び出身学校が発行する理由書(様式任意)を提出すること。
- (5) 廃校・被災により調査書が得られない場合には、卒業証明書・成績証明書・成績通信簿等、調査書に代わり提出可能な証明書等を提出すること。

8 入試過去問題の活用について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、個別学力検査において、本学だけでなく「入試過去問題活用宣言」参加校の過去問題を利用する場合がある。

IV 一般入試の個別学力検査日程及び出願手続等

1 前期日程

(1) 個別学力検査等日程(前期日程)

学 部 ・ 学 科 等		個 別 学 力 検 査 日 程 等						
		試験区分	試験期日	教科等	時間	試験場		
教 養 学 部		学力検査	令和2年 2月25日(火)	英語	10:00~11:30	埼玉大学		
経済学部 (昼間コース)	一般入試 枠	学力検査	令和2年 2月25日(火)	英語	10:00~11:30			
	国際プログラム 枠			国語	13:00~14:30			
小論文				数学	15:30~17:00			
教育 学 部	小学校 コース	文 系	学力検査	令和2年 2月25日(火)	英語		10:00~11:30	
		理 系			数学 または 理科		15:30~17:00	
	実技系	音楽分野	実技検査	令和2年 2月26日(水)	音楽		9:00~	
		図画工作分野			美術		9:00~12:00	
		体育分野			体育		9:00~	
	言語文化 専修	国語分野	学力検査	令和2年 2月25日(火)	国語		13:00~14:30	
		英語分野			英語		10:00~11:30	
	社会専修		小論文	令和2年 2月25日(火)	小論文		13:00~14:30	
	自然科学 専修	数学分野	学力検査		令和2年 2月25日(火)		数学	15:30~17:00
		理科分野		理科				
	芸術専修	音楽分野	実技検査	令和2年 2月26日(水)	音楽		9:00~	
		美術分野			美術		9:00~12:00	
	身体文化 専修	保健体育分野	面接	令和2年 2月25日(火)	体育		9:00~	
	生活創造 専修	技術分野			令和2年 2月26日(水)		面接	9:00~
家庭科分野		面接	令和2年 2月25日(火)	英語			10:00~11:30	
乳幼児教育コース		学力検査		令和2年 2月25日(火)	英語		10:00~11:30	
特別支援教育コース		面接	令和2年 2月25日(火)			面接		9:00~
養護教諭養成課程		面接	令和2年 2月25日(火)	面接	9:00~			
理 学 部	数 学 科	学力検査	令和2年 2月26日(水)	数学	10:00~12:00			
	物 理 学 科			総合問題				
	基 礎 化 学 科							
	分 子 生 物 学 科							
生 体 制 御 学 科	面接	令和2年 2月26日(水)	数学	10:00~12:00				
工 学 部	機械工学・システムデザイン学科				学力検査	令和2年 2月26日(水)	数学	10:00~12:00
	電気電子物理工学科							
	情報工学科							
	環境社会デザイン学科							
応 用 化 学 科	小論文	令和2年 2月26日(水)	総合問題	小論文	13:30~14:30			
全 学 科								

(注1) 試験当日必ず本学受験票及び大学入試センター試験受験票を持参すること。

なお、大学入試センター試験受験票は入学手続の際にも必要となるので、紛失した場合には事前に再発行を受けておくこと。

(注2) 当該学部・学科等が指定する大学入試センター試験及び個別学力検査の1教科・科目でも受験しない者は失格とする。

(注3) 教育学部の学力検査を受験する者は、志願した課程・専修等の教科の試験時間にあわせて来場すること。

(注4) 志願者数により近隣の会場を利用する場合がある。この場合、受験票ダウンロード時に連絡する。

(2) 出願手続(前期日程)

出願方法	出願は、Web出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送）のみとします。 51頁「3 Web出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。	
出願期間	令和2年1月27日（月）～2月5日（水）期間内必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、1月20日（月）から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、 簡易書留速達郵便 で発送してください。 （ただし、出願期間が過ぎて2月6日（木）正午までに到着した出願書類のうち、2月4日（火）までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。）	
提出書類等	入学志願票 (注1)(注2)	Web出願サイト (https://e-apply.jp/e/saitama-n/) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。（この写真は、入学後、学生証にも使用します。） 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。 入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。入学志願票にはセンター試験成績請求票を貼り付けてください。出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	調査書 (注3)	出身学校長が作成し厳封したもの。なお、外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者並びに高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む。）については、当該試験等の成績証明書等を提出すること。また、高等学校卒業程度認定試験合格者で科目免除のある者は、合格成績証明書に加え在学した高等学校の「単位取得証明書」及び文部科学省の発行する「合格証書」の写しを提出すること。 高等学校卒業程度認定試験の一部科目合格者で、大学入学までに合格する見込みがある者は、出願時に調査書に代えて、文部科学省発行の「合格見込成績証明書」を提出すること。なお、本学の入学者選抜に合格し入学する場合は、文部科学省発行の「合格証書（写）」を合格した学部を担当学部係に令和2年3月27日（金）までに提出すること。これを怠った者は、入学を許可しない。
	音楽実技検査に関する調査書	教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野志願者のみ提出すること。 【本学ホームページ掲載の様式を利用】 なお、必要に応じて楽譜を提出すること（40頁参照）。
	スポーツ活動に関する調査書	教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野志願者のみ提出すること。なお、調査書に記載された事項について、それを証明できる書類（大会プログラム、公式記録、新聞記事、賞状等から1点）がある場合は、その写しを添付すること。 【本学ホームページ掲載の様式を利用】
	英語力検定試験の成績証明書	経済学部国際プログラム枠入試志願者は、英語力検定試験の成績証明書を提出することができます。TOEIC L&R（IPを含む）の場合、公式認定証または、スコアレポートを提出してください。TOEFL（ITPを含む）やIELTSの場合、手持ちの成績証明書（Examinee Score Report）を提出してください。GTECの場合、「GTEC」OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください。複数回の試験を受験している場合、15頁にある換算表をもとに、最も有利なもの1つを提出してください。 ETSから本学へのスコア送付（Official Score Report）は利用できません。 提出された成績証明書は返却いたしません。
書類郵送先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学 入試課	

(注1) 経済学部一般入試枠の受験科目選択は、Web出願時に行う。なお、出願書類受理後は科目の変更を一切認めない。

(注2) 教育学部学校教育教員養成課程小学校コース理系の受験教科・科目（理科）選択、及び中学校コース自然科学専修理科分野の受験科目（理科）選択は、Web出願時に行う。なお、出願書類受理後は教科・科目の変更を一切認めない。

(注3) 既卒者の調査書は、卒業後に発行されたものであれば発行日を問わない。なお、卒業後、5年を経過し、出身学校から調査書が発行されない場合は、卒業証明書及び出身学校が発行する理由書（様式任意）を提出すること。

ア 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。

到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要になります。)

イ 提出された書類等に不備がある場合には、受理しないことがある。

ウ 提出された書類が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできない。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

1) 検定料の返還請求ができるもの

i) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

ii) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

iii) 出願後、個別学力検査等受験要件となる大学入試センター試験の科目(12~37頁参照)を受験しなかったことが明らかになった場合(この場合は13,000円のみを返還する。)

iv) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

2) 返還請求の方法

本学ホームページの入試情報ページ(<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当

(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)

エ インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合

【入学検定料の支払い前】

お手数ではありますが、再度始めからお申し込み直してください。

新たに【お支払いに必要な番号】が通知されますので、新しい番号で入学検定料をお支払いください。

大学へ出願する書類は、必ず再度印刷した書類を提出してください。

(※前回の出願内容は、お支払期限内に入学検定料の納入がなければ自動的に削除されます。)

【入学検定料を支払った後(入学検定料の免除が認められた者で入力完了した者も含む)】

入学検定料を支払った後に入力誤りに気づいた場合は、やり直しはできません。

その場合は、印刷した出願書類の入力誤り部分を二重線(赤)で消して、訂正のうえで郵送してください。ただし、「前期・後期日程の区分」「希望する学部・学科等」「選択する受験科目」の訂正は一切応じません。

オ 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の推薦入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。ただし、令和元年2月19日(水)までに当該大学に推薦入学辞退の許可を得た場合は、この限りではない。

※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>)参照

カ 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)のAO入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。ただし、令和元年2月19日(水)までに当該大学にAO入試の入学辞退手続きを行った場合は、この限りではない。

※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>)参照

キ 本学に入学する意思があつて、出願資格に不明な点がある者、及び8頁2(9)に規定する入学資格認定を必要とする者は、可能な限り令和元年中にアドミッションセンター(入試課)へ問い合わせること。

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載している。

(http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/examination/)

教育学部学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野及び中学校コース身体文化専修保健体育分野志願者への注意

実技検査は、1から3の領域の中から、第1得意種目を1種目と第2得意種目を2種目選択し、合計3種目を受験する。これらの3種目は、異なる領域から選ばなければならないので注意すること。

実技検査 領域・種目一覧表

領域	第1得意種目・内容	第2得意種目・内容
1	100m走	100m走
	1500m走	1500m走
	走り幅跳び	走り幅跳び
	砲丸投げ	砲丸投げ
2	バレーボール	バレーボール
	バスケットボール	バスケットボール
	サッカー	サッカー
3	ダンス	ダンス
	マット運動	マット運動
	鉄棒運動	

※ 第2得意種目では「鉄棒運動」は実施しない。

(3) 合格者の発表(前期日程)

合格発表は、合格者への「合格通知書及び入学手続書類」の発送により行います。掲示による合格発表は行いません。また、不合格者には通知書等の送付は行いません。

- ① 合格通知書及び入学手続書類の発送日
令和2年3月6日(金)
- ② 電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。
- ③ 合否照会システム
補助手段としてパソコン・携帯電話・スマートフォンによりインターネットで照会することができます。利用方法の詳細は、56頁をご覧ください。
合否照会システムの利用期間は、以下のとおりです。
令和2年3月6日(金)14:00～3月9日(月)17:00

(4) 入学手続(前期日程)

本学が指定した提出書類等を指定の期間内に本人又は代理人が直接大学に持参し、入学手続を行うこと。なお、郵送による入学手続については合格者に通知する。

入学手続日	令和2年3月14日(土)、15日(日) 9時から17時まで
提出書類	(ア) 大学入試センター試験受験票 (イ) 埼玉大学受験票 (ウ) その他本学の指定する書類等(合格者に通知する。)
納付金	(ア) 入学料 282,000円 (イ) 授業料(前期分) 267,900円 (年額 535,800円)

注意事項

- (1) 令和2年3月15日(日)までに入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱う。
- (2) 前期日程合格者で令和2年3月15日(日)までに入学手続を行った者は、後期日程試験を受験していてもその合格者とならない。
- (3) 前期日程合格者で入学を辞退した者は当該学部・学科の追加合格者の対象とならない。
- (4) 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできない。
- (5) 他の国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできない。
- (6) 追加合格者の入学手続は該当者への合格通知のときに知らせる。
- (7) 本学が定めた上記の入学手続日以外は、いかなる理由があっても一切受付しない。
- (8) 入学料及び授業料は、改定される場合がある。
- (9) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができる。
- (10) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- (11) 入学時には上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険の加入料など若干の諸経費が必要となる。
保険金は、本学の教育研究活動中(授業・クラブ活動等の時)に生じた不慮の事故・災害により身体傷害を被った場合並びに、国内において、正課(教育実習、インターンシップ、ボランティア活動を含む。)・学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより支払務を生じる損害賠償金について支払われる。
- (12) 令和2年3月31日(火)17時までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害傷害保険などの返還に応じるが、納付した入学料については、いかなる理由があっても返還しない。

2 後期日程

(1) 個別学力検査等日程(後期日程)

学部・学科等		個別学力検査日程等				
		試験区分	試験期日	教科等	時間	試験場
教養学部		小論文	令和2年 3月12日(木)	小論文	10:00~11:30	埼玉(注3) 大学
経済学部(昼間コース)		小論文	令和2年 3月12日(木)	小論文	10:00~11:30	
理学部	数 学 科	学力検査	令和2年 3月12日(木)	理科	10:00~12:00	
	物 理 学 科			数学	13:30~15:30	
	基 礎 化 学 科				理科	
	分 子 生 物 学 科					
	生 体 制 御 学 科					
工学部	機械工学・システムデザイン学科	学力検査	令和2年 3月12日(木)	理科	10:00~12:00	
	電気電子物理工学科				数学	13:30~15:30
	情報工学科					
	応用化学科					
	環境社会デザイン学科					

(注1) 試験当日必ず本学受験票及び大学入試センター試験受験票を持参すること。

なお、大学入試センター試験受験票は入学手続の際にも必要となるので、紛失した場合には事前に再発行を受けておくこと。

(注2) 当該学部・学科等が指定する大学入試センター試験及び個別学力検査の1教科・科目でも受験しない者は失格とする。

(注3) 志願者数により近隣の会場を利用する場合がある。この場合、受験票ダウンロード時に通知する。

(2) 出願手続(後期日程)

出願方法	出願は、Web出願(インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送)のみとします。 51頁「3 Web出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。	
出願期間	令和2年1月27日(月)～2月5日(水)期間内必着とします。 インターネット出願の登録と入学検定料の納入は、1月20日(月)から可能です。 上記出願期間中に、下記提出書類が本学に到着するよう、 簡易書留速達郵便 で発送してください。 (ただし、出願期間が過ぎて2月6日(木)正午までに到着した出願書類のうち、2月4日(火)までの発信局消印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。)	
提出書類等	入学志願票 (注1)	Web出願サイト (https://e-apply.jp/e/saitama-n/) 又は本学ホームページからアクセスし、志願者登録を行ってください。 顔写真は、出願前3ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。(この写真は、入学後、学生証にも使用します。) 志願者登録終了後、入学検定料をお支払いください。 入学検定料17,000円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。 その後、入学志願票、出願書類提出用封筒宛名をダウンロードし、カラー印刷してください。入学志願票にはセンター試験成績請求票を貼り付けてください。出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。
	調査書 (注2)	出身学校長が作成し厳封したもの。なお、外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者並びに高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者を含む。)については、当該試験等の成績証明書等を提出すること。また、高等学校卒業程度認定試験合格者で科目免除のある者は、合格成績証明書に加え在学した高等学校の「単位取得証明書」及び文部科学省の発行する「合格証書」の写しを提出すること。 高等学校卒業程度認定試験の一部科目合格者で、大学入学までに合格する見込みがある者は、出願時に調査書に代えて、文部科学省発行の「合格見込成績証明書」を提出すること。なお、本学の入学者選抜に合格し入学する場合は、文部科学省発行の「合格証書(写)」を合格した学部担当学係に令和2年3月27日(金)までに提出すること。これを怠った者は、入学を許可しない。
書類郵送先	〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学 入試課	

(注1) 理学部数学科・基礎化学科・分子生物学科・生体制御学科の受験科目(理科)の選択は、Web出願時に行う。

なお、出願書類受理後は科目の変更は一切認めない。

(注2) 既卒者の調査書は、卒業後に発行されたものであれば発行日を問わない。なお、卒業後、5年を経過し、出身学校から調査書が発行されない場合は、卒業証明書及び出身学校が発行する理由書(様式任意)を提出すること。

ア 提出された書類等の郵送到着確認の問い合わせには一切応じません。

到着確認は、日本郵便Webサイトの郵便追跡サービスを使用してください。(使用時は、簡易書留郵送時に郵便局で発行される受領証に記載されている「問い合わせ番号」が必要になります。)

イ 提出された書類等に不備がある場合には、受理しないことがある。

ウ 提出された書類が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできない。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

(1) 検定料の返還請求ができるもの

- i) 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
- ii) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- iii) 出願後、個別学力検査等受験要件となる大学入試センター試験の科目(12～37頁参照)を受験しなかったことが明らかになった場合(この場合は13,000円を返還する)
- iv) 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

(2) 返還請求の方法

本学ホームページの入試情報ページ(<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/index.html>)より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

送付先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、返還請求書到着後2ヶ月程度かかる場合があります。)

エ インターネット出願で、入力内容の間違いに気づいた場合

【入学検定料の支払い前】

お手数ではありますが、再度始めからお申し込み直してください。

新たに【お支払いに必要な番号】が通知されますので、新しい番号で入学検定料をお支払いください。

大学へ出願する書類は、必ず再度印刷した書類を提出してください。

(※前回の出願内容は、お支払期限内に入学検定料の納入がなければ自動的に削除されます。)

【入学検定料を支払った後（入学検定料の免除が認められた者で入力完了した者も含む）】

入学検定料を支払った後に入力誤りに気づいた場合は、やり直しはできません。

その場合は、印刷した出願書類の入力誤り部分を二重線（赤）で消して、訂正のうえで郵送してください。ただし、「前期・後期日程の区分」「希望する学部・学科等」「選択する受験科目」の訂正は一切応じません。

オ 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の推薦入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。ただし、令和2年2月19日（水）までに当該大学の推薦入学辞退の許可を得た場合は、この限りではない。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>) 参照

カ 他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)のAO入試に合格した者は、たとえ受験しても本学の合格者とはならない。ただし、令和2年2月19日（水）までに当該大学にAO入試の入学辞退手続きを行った場合は、この限りではない。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/?cat=26>) 参照

キ 本学に入学する意思があつて、出願資格に不明な点がある者、及び8頁2(9)に規定する入学資格認定を必要とする者は、可能な限り令和元年中にアドミッションセンター（入試課）へ問い合わせること。

※ 埼玉大学入学資格審査要項、申請書等は本学ホームページに掲載している。

(http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/examination/)

(3) 合格者の発表(後期日程)

合格発表は、合格者への「合格通知書及び入学手続書類」の発送により行います。

掲示による合格発表は行いません。また、不合格者には通知書等の送付は行いません。

① 合格通知書及び入学手続書類の発送日

令和2年3月20日(金)

② 電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。

③ 合否照会システム

補助手段としてパソコン・携帯電話・スマートフォンによりインターネットで照会することができます。利用方法の詳細は、56頁をご覧ください。

合否照会システムの利用期間は、以下のとおりです。

令和2年3月20日(金)14:00～3月24日(火)17:00

(4) 入学手続(後期日程)

本学が指定した提出書類等を指定の期間内に本人又は代理人が直接大学に持参し、入学手続を行うこと。なお、郵送による入学手続については合格者に通知する。

入学手続日	令和2年3月26日(木)、27日(金) 9時から17時まで
提出書類	(ア) 大学入試センター試験受験票 (イ) 埼玉大学受験票 (ウ) その他本学の指定する書類等(合格者に通知する。)
納付金	(ア) 入学料 282,000円 (イ) 授業料(前期分) 267,900円 (年額 535,800円)

注意事項

- (1) 令和2年3月27日(金)までに入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱う。
- (2) 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできない。
- (3) 他の国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできない。
- (4) 追加合格者の入学手続は該当者への合格通知のときに知らせる。
- (5) 本学が定めた前記の入学手続日以外は、いかなる理由があつても一切受付しない。
- (6) 入学料及び授業料は、改定される場合がある。
- (7) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができる。
- (8) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- (9) 入学時には上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険の加入料など若干の諸経費が必要となる。保険金は、本学の教育研究活動中(授業・クラブ活動等の時)に生じた不慮の事故・災害により身体傷害を被った場合並びに、国内において、正課(教育実習、インターンシップ、ボランティア活動を含む)・学校行事及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより支払義務を生じる損害賠償金について支払われる。
- (10) 令和2年3月31日(火)17時までに入学辞退の意思表示をした者については、入学志願者が納付した授業料及び学生教育研究災害傷害保険などの返還に応じるが、納付した入学料については、いかなる理由があつても返還しない。

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、写真データ、センター試験成績請求票など



STEP

2



Web出願サイトにアクセス

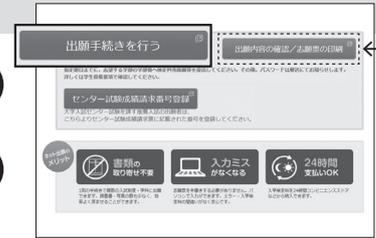
Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/e/saitama-n/>

または、

大学ホームページ ▶ <http://www.saitama-u.ac.jp/>

からアクセス

※出願期間の1週間前から入力・登録可能



STEP

3



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

① 試験区分、志望学部・学科等

② 個人情報(氏名・住所等)

③ 申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。

「出願内容の確認/志願票の印刷」ボタンより、受付番号(※)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願票の出力ができます。

④ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ページー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ページー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはページー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合	
払込票番号	_____
番号メモ(13桁)	_____

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合	
オンライン決済	_____
番号メモ(11桁)	_____

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ページー対応銀行ATMの場合	
お客様番号	_____
メモ(11桁)	_____
確認番号	_____
メモ(6桁)	_____
収納機関番号(5桁)	5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ページーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン



Loppi

LAWSON

Famiポート

あなたと、コンビニ。
FamilyMart

クラブ
ステーション

Seicomart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

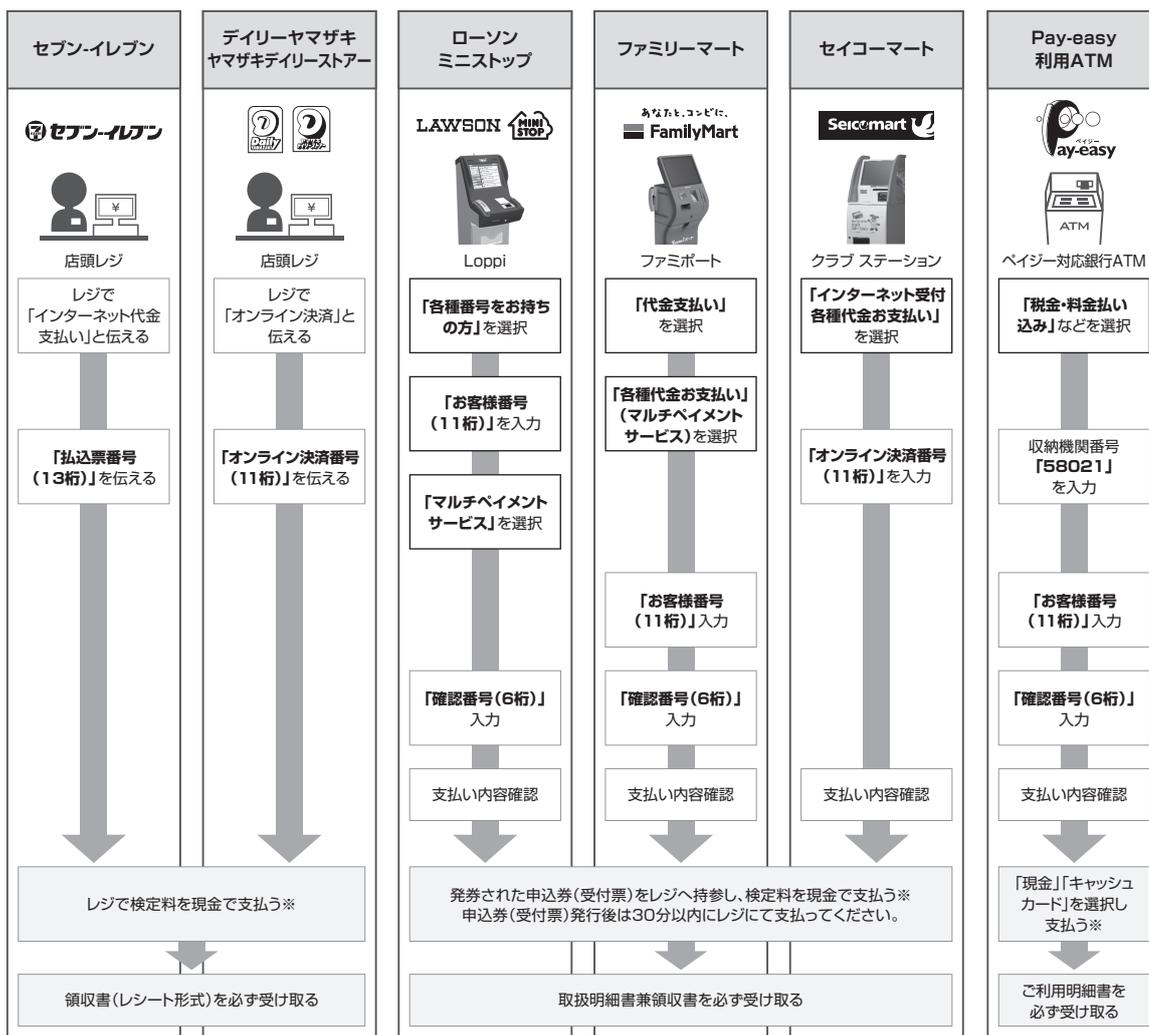
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

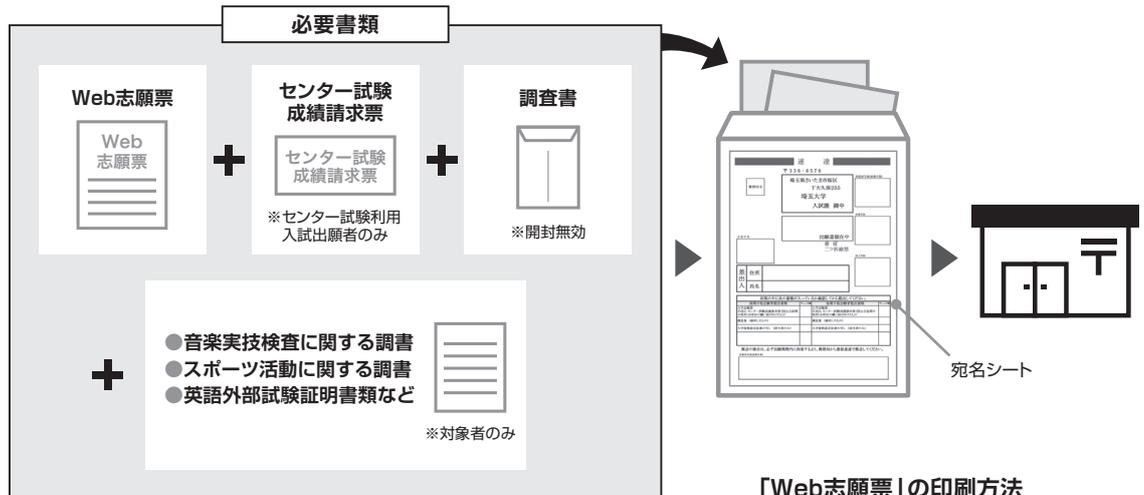
STEP

5

必要書類の郵送

*登録しただけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

登録完了画面、または確認メールに記載されている必要書類を郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。※出願期間内必着です。



送付先

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学入試課 行

■出願書類

詳細は本学HPで公表している学生募集要項で確認してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

「Web志願票」の印刷方法



「出願内容の確認/志願票の印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願票の出力ができます。

<出願完了>

出願時の 注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。
登録しただけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願期間最終日の出願登録、入学検定料の支払は、17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)までとなりますが、必要書類の郵送は各募集要項で定められた期間内に必ず到着するよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

6

受験票の印刷

*出願締切後にご登録のメールにご連絡します。

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します。Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷してください。



4 受験票のダウンロード

- (1) 令和2年2月17日(月)に、出願時に登録したメールアドレスへ「**受験票ダウンロード通知メール**」を**送信しますので**、受験票をダウンロードして印刷してください。

なお、メールが届かない場合であっても、出願が受理されていれば、同日以降に受験票のダウンロードができますので、下記【STEP2】【STEP3】を参照して受験票をダウンロードし、印刷してください。

ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合、学務部入試課へ連絡してください。

連絡先: 埼玉大学学務部入試課 【電話 048 (858) 3036】

- 【STEP1】 志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ以下のとおり受験票ダウンロード通知メールを送信します。

【埼玉大学】出願サービス 受験票印刷可能メール 受信トレイ x

 **no-reply@e-apply.jp** disc.co.jp 経由
To e-apply_staff

◆=====◆
【e-applyインターネット申込受付サイト】
埼玉大学 出願サービス 受験票印刷可能のご案内
◆=====◆

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。
受験票の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■受付番号
228823856610
※受験番号ではありません。

■以下のURLから登録内容を必ず確認の上、受験票を印刷してください。
<https://rehearsal.e-apply.jp/n/saitama-n/login/228823856610>

■注意
○試験当日は、印刷をした受験票を持参してください。
○スマートフォン等の画面表示による受験票の提示は認めません。
○受験票が印刷できない場合は、速やかに募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡をしてください。
○本メールは入試が終了するまで大切に保管をしてください。

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承下さい。

問い合わせについては、募集要項に記載されている問い合わせ先に連絡願います。

当メールに心当たりが無い場合は、誠に恐れ入りますが破棄していただきますよう、
よろしく申し上げます。

【STEP2】 受験票ダウンロード通知メールを受信後、登録内容確認画面にログインします。

登録内容確認ページにログインするには、出願登録時の【受付番号(数字 12桁)・生年月日・メールアドレス】が必要になります。



Step6 受験票の印刷

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールにて通知します。
必ず印刷し、試験当日持参してください。

➡ 出願内容の確認 / 志願票・受験票の印刷はこちら



※ トップページ / Top

出願したときの受付番号(12桁)、生年月日、メールアドレスを入力して、「ログイン」ボタンを押してください。

ログイン

受付番号	<input type="text"/>	(半角数字)
生年月日	<input type="text" value="2000"/> / <input type="text" value="01"/> / <input type="text" value="01"/>	
メールアドレス	<input type="text"/>	

ログイン

※ サイトの管理運営は株式会社ディスコが行っています。
© DISCO Inc.

【STEP3】 ログイン後、受験生登録画面より受験票(PDF)をダウンロードし、カラー印刷して、試験当日に持参してください。

お申込内容

受付番号	228582633633
受付日時	2019年1月14日 0時00分00秒
検定料	17,000 円
決済種別	クレジットカード
払込手数料	810 円
合計金額	17,810 円

書類(PDF)の表示	<p>入学検定料は納入済みです。</p> <p>【入学志願票等を印刷する皆さまへ】 次のボタンを押して表示される「入学志願者名票」「出願書類提出用宛名シート」を印刷し、その他の必要な書類とあわせて、必ず提出期限内に「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。 (必要書類・提出期限は必ず募集要項を確認してください。) ※「入学志願者名票」には「平成31センター試験成績請求票」を必ず貼付して提出してください(一般入試志願者のみ)。 ※「出願書類提出用宛名シート」は送付先の宛名等があらかじめ記載されていますので、書類を封入する角形2号封筒の表面に貼付して使用してください。</p> <p>【大学入試センター成績請求票貼付用紙を印刷する皆さまへ】 次のボタンを押して表示される「大学入試センター成績請求票貼付用紙」を印刷し、用紙に記載された説明をよく読み、「推薦 国公立推薦入試用」成績請求票を貼り付けのうえ、「〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学入試課」宛に12月19日(水)迄に届くよう郵送してください。</p> <p style="text-align: center;">書類(PDF)の表示</p>
受験票等のPDF	受験票等のPDFの表示

写真

(2) 「埼玉大学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」は、個別学力検査等受験、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なため、大切に保管しておいてください。

5 合否照会システムの利用方法について

■WEB による合否結果通知

1. URLの入力

URL: <https://www.gouhi.com/saitama-u/>



※QRコードリーダー対応携帯電話をお持ちの方は、右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリックしてインターネットに接続してください。

2. 操作手順

